

研究用原子炉を用いた中性子 イメージングについて

～ 熱流動研究における熱中性子ラジオグラフィ ～

モデレーター	川端祐司 (京大炉)
パネリスト	酒井 卓郎 (JAEA) 梅川 尚嗣 (関西大) 浅野 等 (神戸大) 齊藤 泰司 (京大炉)

熱流動系研究者にとっての中性子ラジオグラフィ

竹中先生が言われるところの”機械のレントゲン”

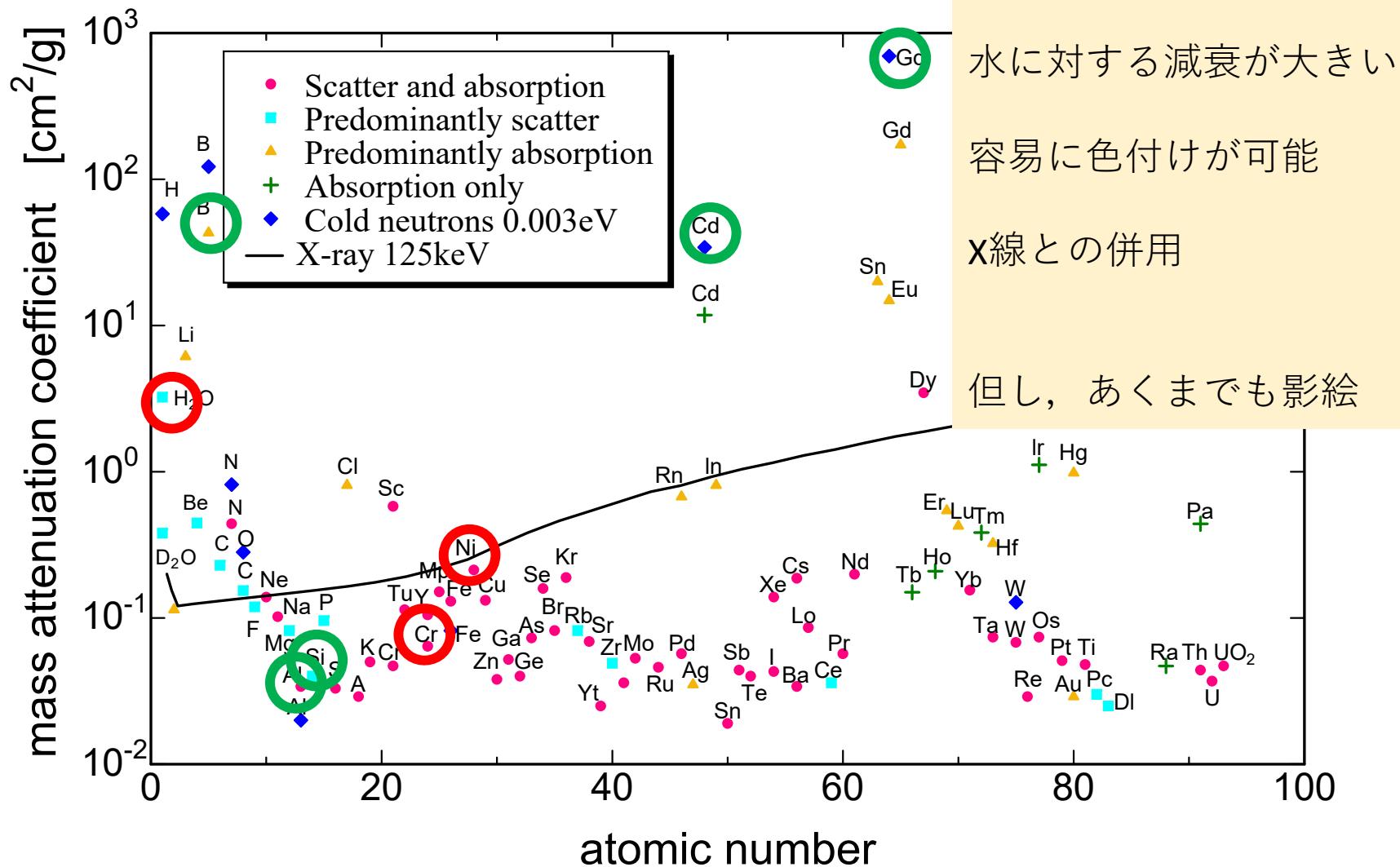
金属に対して透明

水に対する減衰が大きい

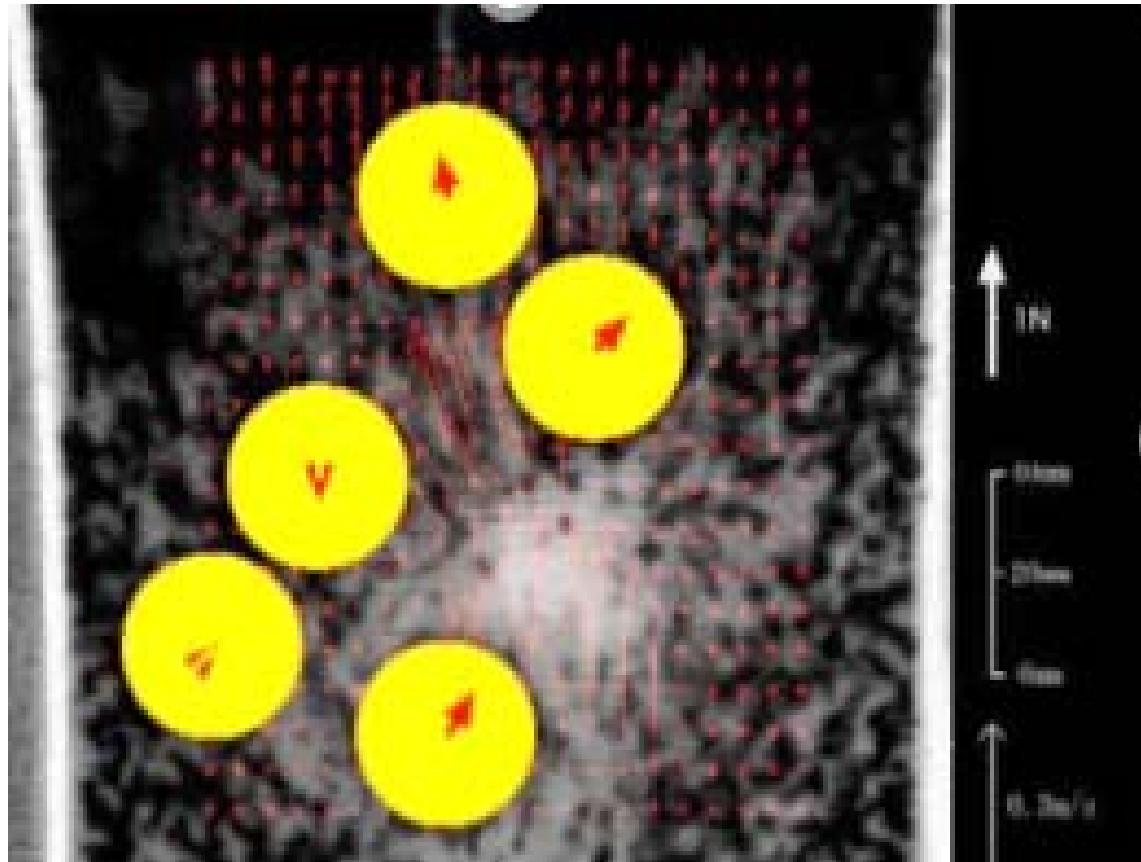
容易に色付けが可能

X線との併用

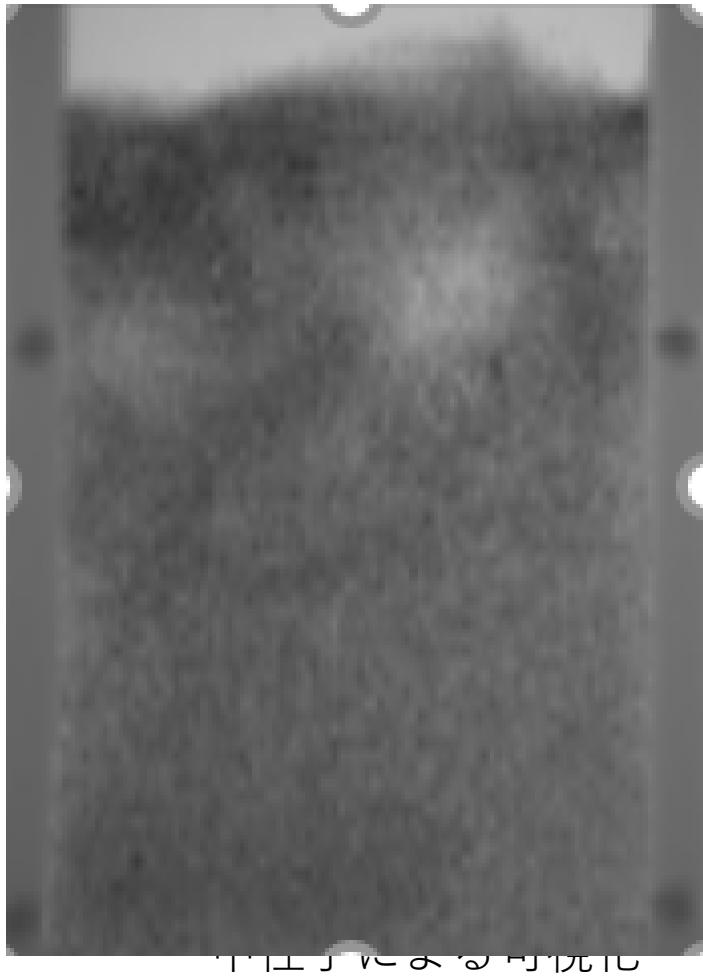
但し、あくまでも影絵



Attenuation coefficient of thermal neutrons



流動層内の粗大粒子と層材挙動の可視化
層材: けい砂(硝酸カドミウム水溶液で着色)
トレーサー: 炭化ホウ素+粘土



X線による可視化

セグレゲーションの可視化

層材: けい砂(400 μ)

けい砂(140 μ) 硫酸ガドリニウムで着色

KURとJRR-3に対する認識

中性子束の差

視野の差

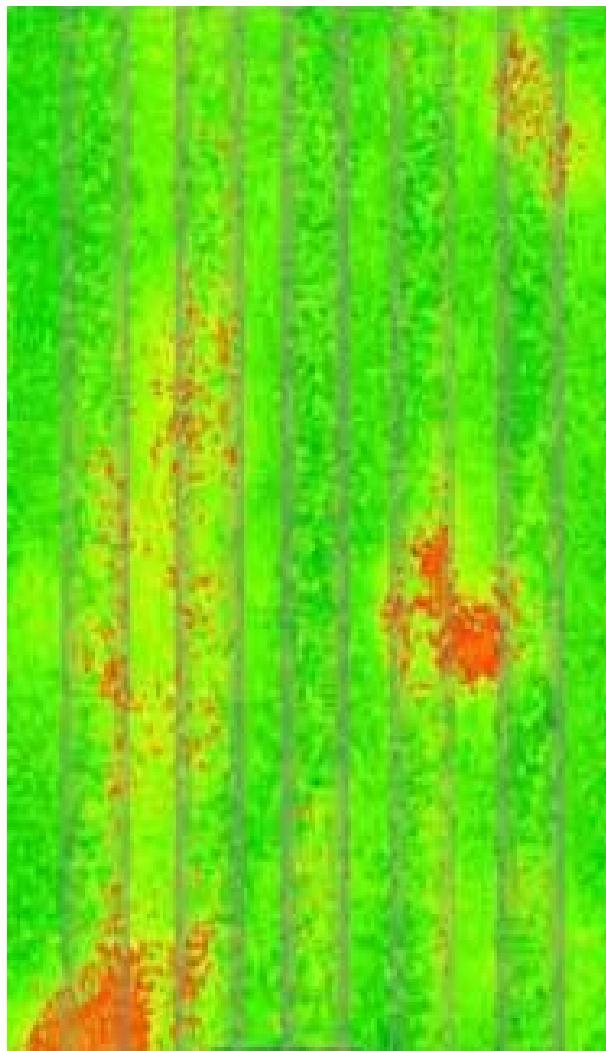
照射室環境の差

	Neutron flux [n/cm ² s]	N/γ ratio [n/cm ² mR]	L/D	Cd ratio	Visible area
Kyoto Univ. KUR(E-2)	4.8×10^5	1.0×10^6	100	400	ϕ 160
Kyoto Univ. KUR(B-4)	8.5×10^7 (at exit) 5.0×10^7 (at 1m)	N/A	N/A	N/A	10×80 (40×80 at 4.7m)
JAEA JRR-3(7R TNRF-2)	1.5×10^8	6.3×10^6	153(V) 176(H)	130	255×305



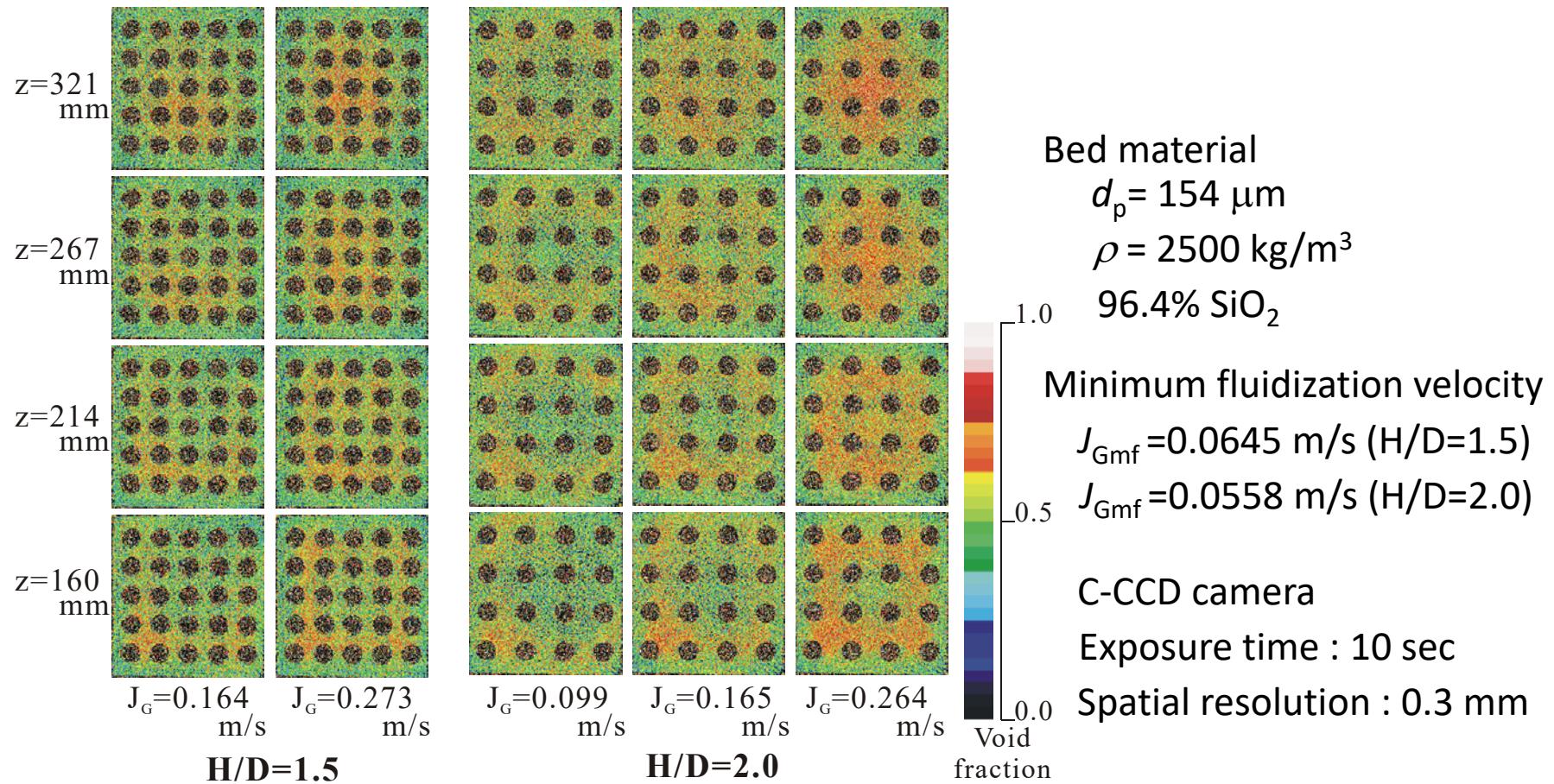
JRR-3
7R TNRF-2

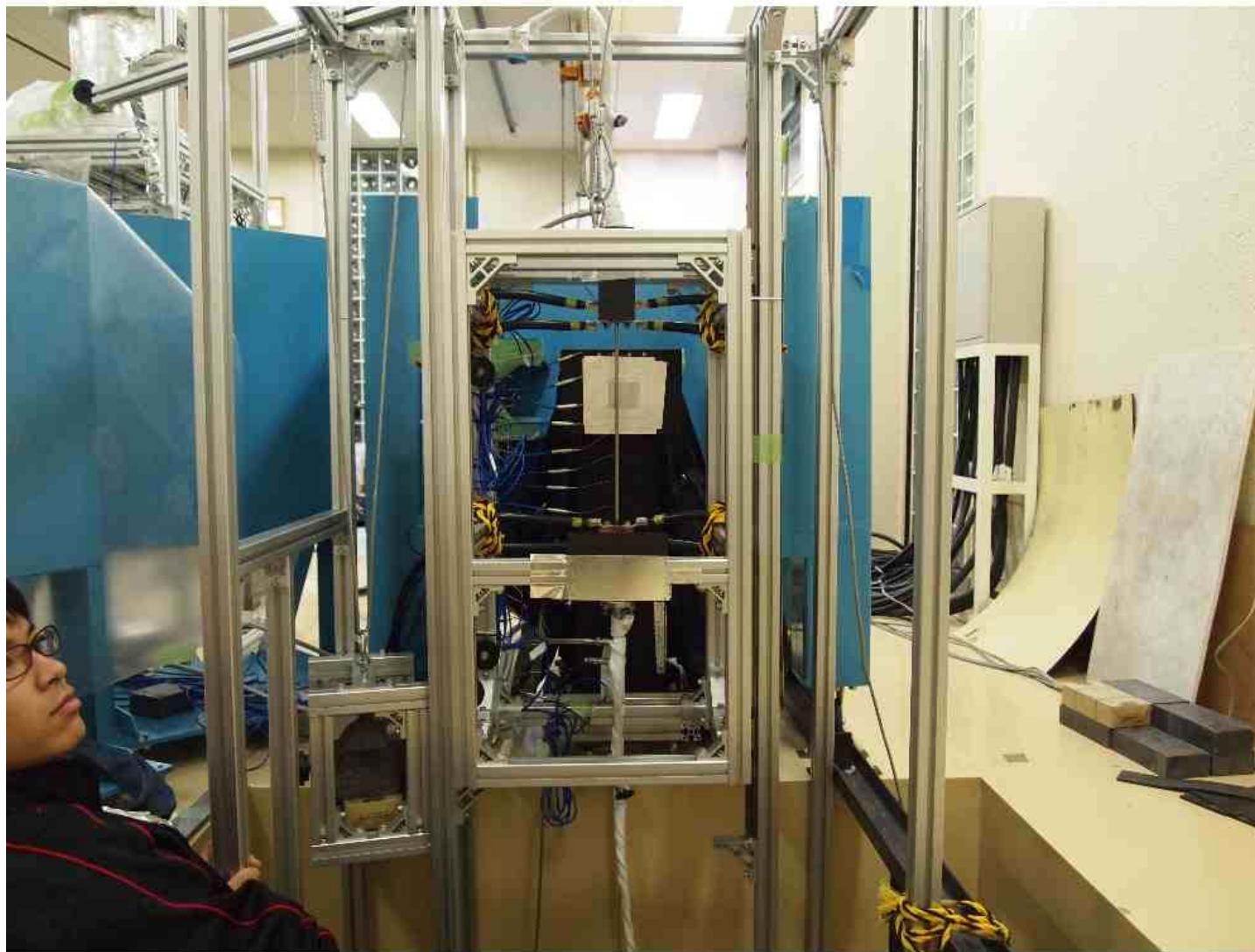




流動層熱交換器(縦管)内の気泡挙動

Void Fraction Distribution by CT Reconstruction



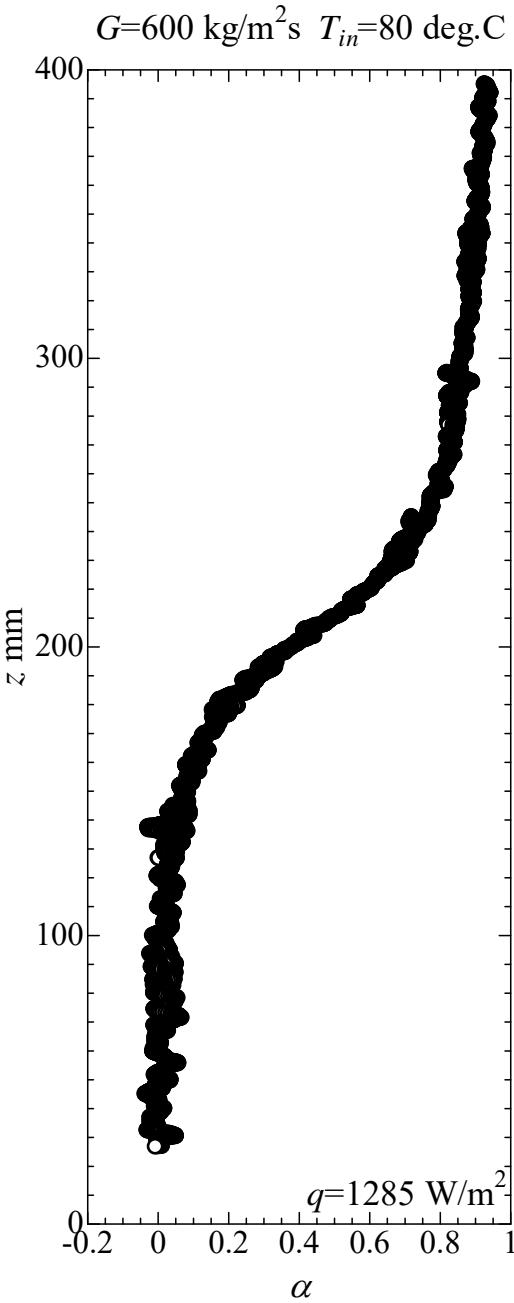
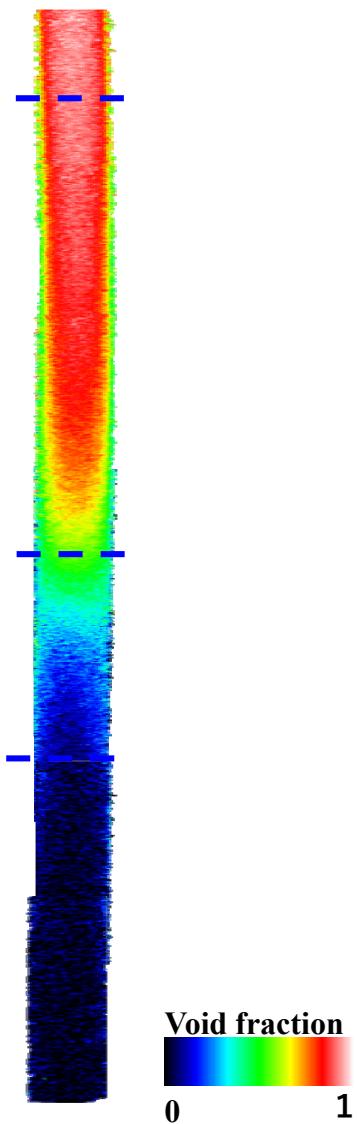
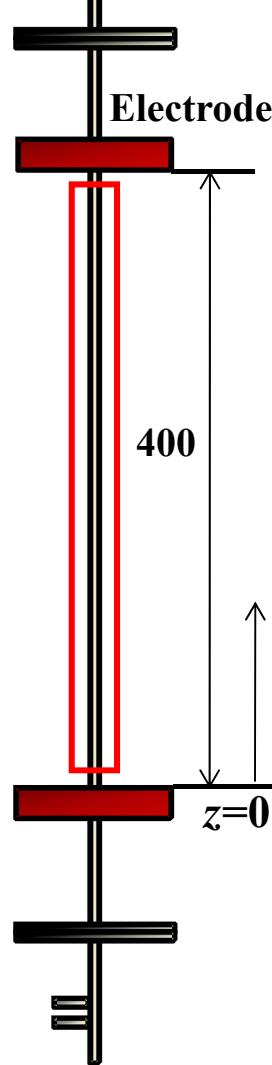


KUR(B-4 ピット利用)

Void fraction (5mm)

Thermal output : 1MW Exposure : 20s

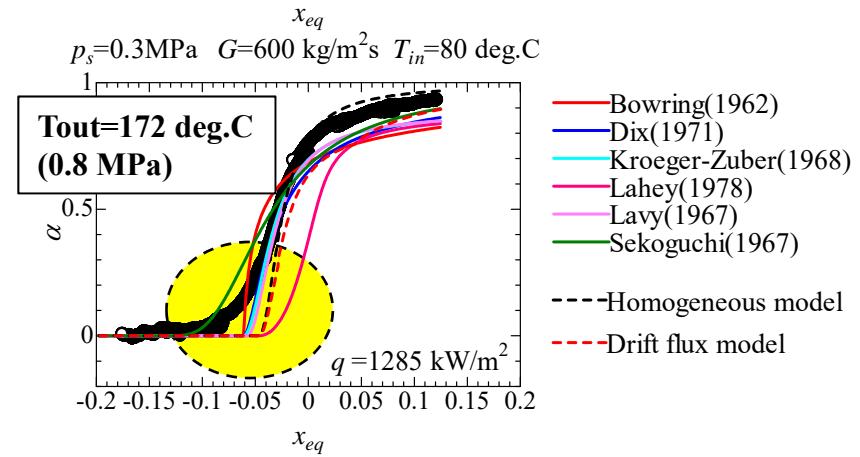
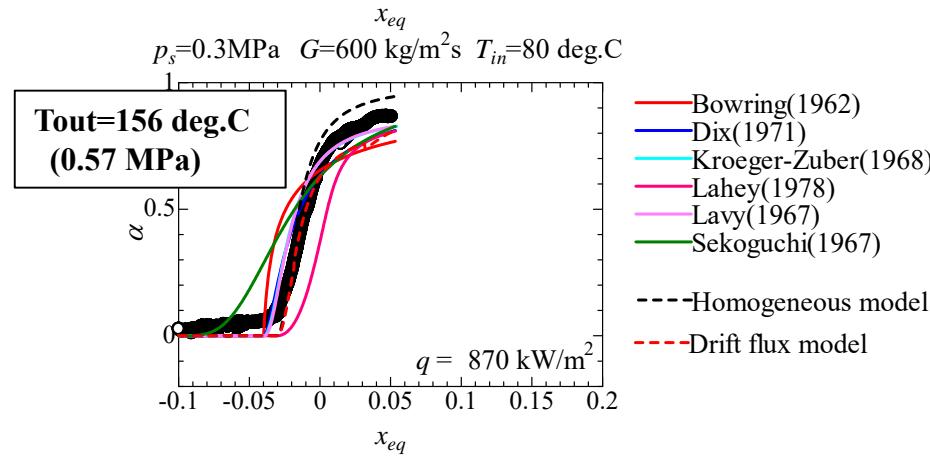
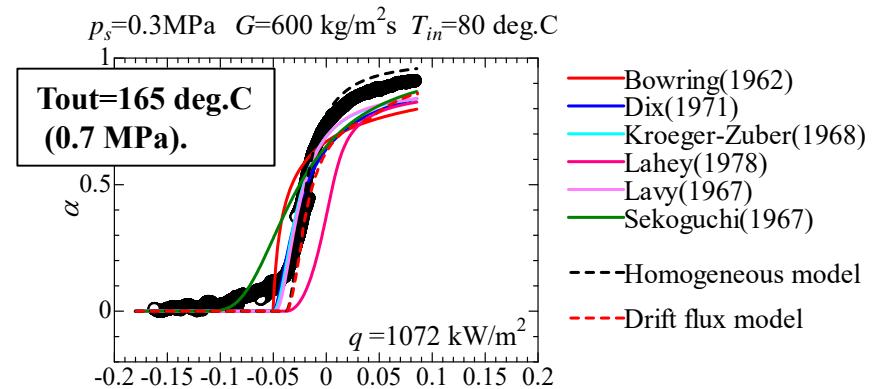
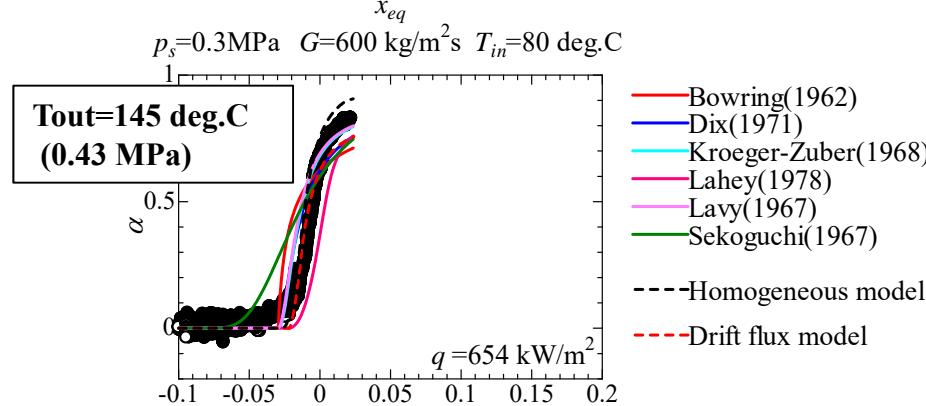
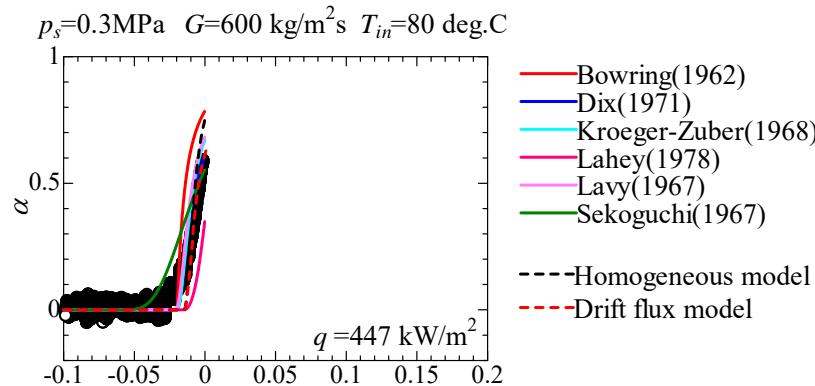
I.D.=5mm
L=400mm
G=600kg/m²s



Experimental result

(q:const.)

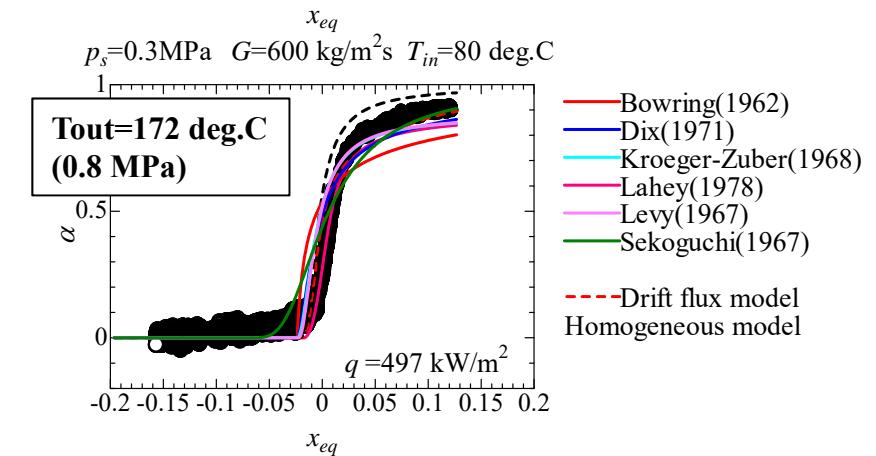
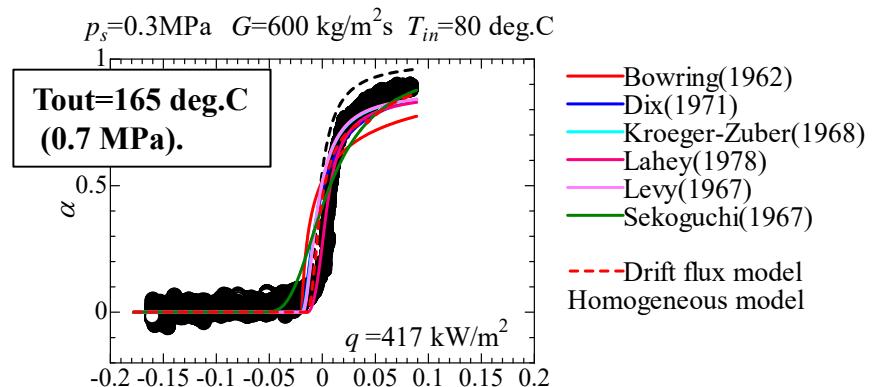
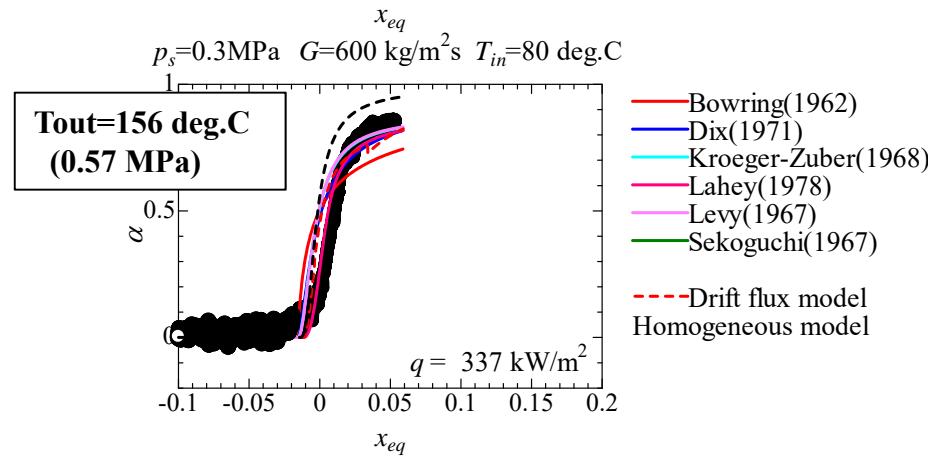
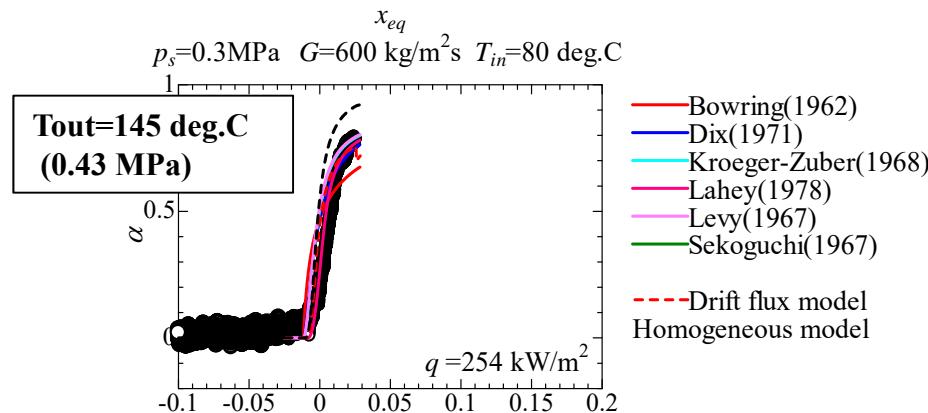
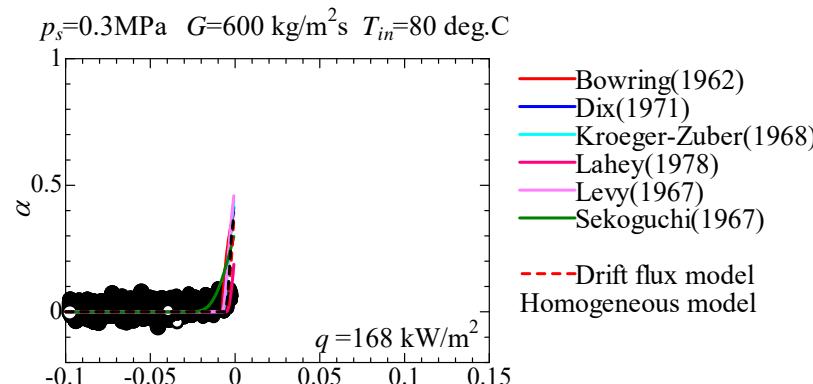
I.D.=5mm L=400mm



Experimental result

(q:const.)

I.D.=5mm L=1000mm



原子炉による中性子ラジオグラフィ

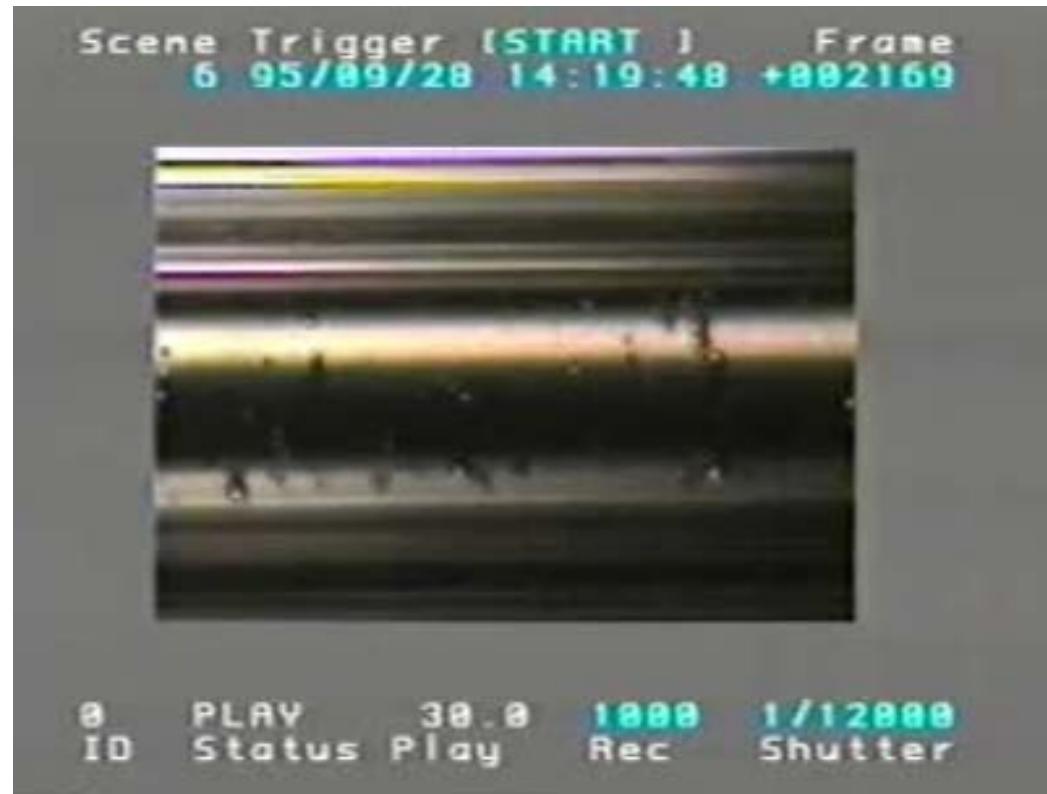
時間分解能

動的イメージ

空間分解能

ダイナミックレンジ

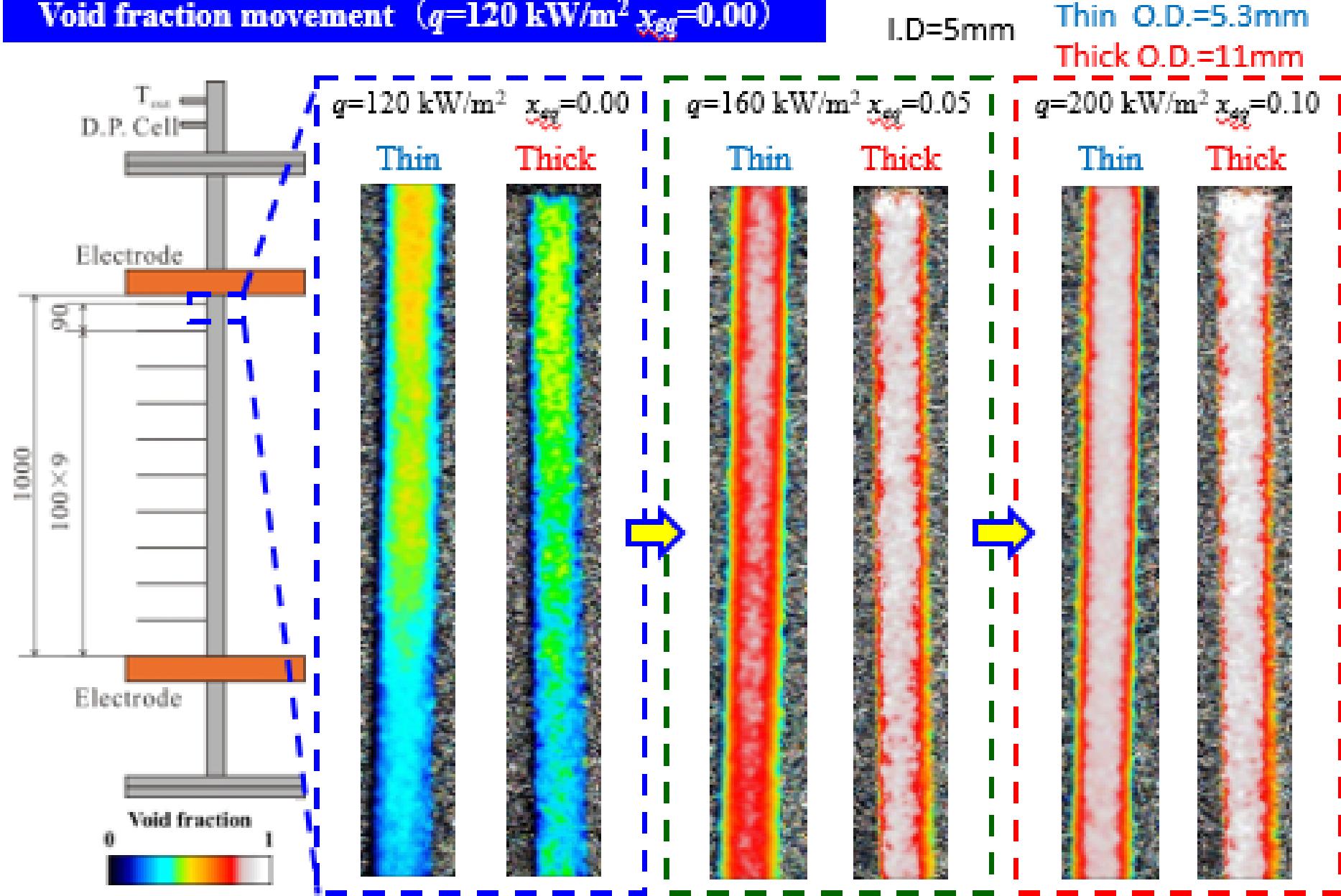
実験環境の自由度

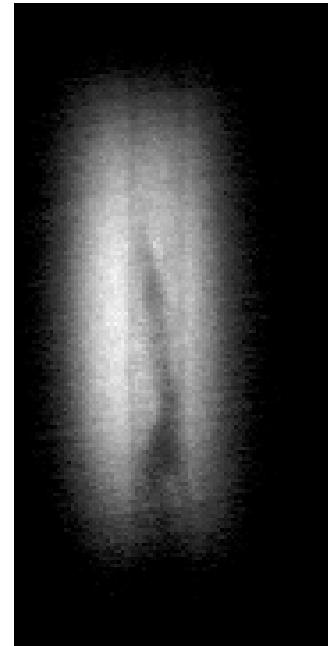


Visualization by Neutron Radiography

By KURRI : 5 MW 30 fps

Void fraction movement ($q=120 \text{ kW/m}^2 x_{\text{eff}}=0.00$)





液体窒素クエンチ現象
(重力注水・水加熱)

強制注水系におけるクエンチ現象(200fps)

クエンチ現象の可視化(逆環状流状態の評価)